http://www.shika-implant.org/

インプラントニュース

Japanese Society of Oral Implantology since 1972

第11号

平成22年2月10日発行

Implant News No.11

(社)日本口腔インプラント学会会報

発行人　川添　堯彬　　編　集　(社)日本口腔インプラント学会広報委員会

事務局　〒105-0014 東京都港区芝2-30-11 芝コトブキビル301
TEL. 03-5765-5510 FAX. 03-5765-5516

HP：http://www.shika-implant.org/　　Eメールアドレス：jsoi@peace.ocn.ne.jp

【本号のトピックス】

第39回学術大会報告，平成21年度各賞受賞者紹介，川添理事長・伊東常務理事 日本歯科医学会会長賞受賞

第 39 回学術大会盛大に開催される

第 39 回(社)日本口腔インプラント学会学術大会は，市川哲雄先生（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部口腔顎顔面補綴学分野教授）を大会長として，「インプラント治療における医療安全・安心」をメインテーマに，平成 21 年 9 月 25 日(金)～27 日(日)の 3 日間にわたり，大阪国際会議場(グランキューブ大阪)で開催されました。

今回の学術大会では，ドイツインプラント学会の Ackerman 先生の特別講演をはじめ，シンポジウム，各種セミナー，また，今年度初めて企画されましたテーブルクリニックやワールドサテライトセミナーなど，多くの企画が行われました。

本学会の会員も 1 万 1 千人を超え，歯科学会で最大規模の学会になっておりますが，一昨年の第 38 回大会と同じく 4 千名を超える参加登録者数となり，盛大な学術大会となりました。また，大会期間中の業者展示には，約 100 社が参加し，インプラントデンタルショーといった感であり，新しい機器や材料等を見ることができ，大変な賑わいでした。

第 39 回学術大会の報告は，次のページ以降に掲載してありますので，是非ご一読ください。

また，今年度の第 40 回学術大会は札幌で開催されますが，そのご案内も掲載されております。第 39 回学術大会と同じく，多数のご参加をお待ちしております。

市川哲雄大会長の挨拶

第 39 回（社）日本口腔インプラント学会学術大会 開催報告

大会長　市川　哲雄

平成 21 年度，第 39 回（社）日本口腔インプラント学会学術大会が 9 月 25 日（金）～ 27 日（日）の 3 日間にわたって大阪国際会議場において開催されました。

今大会は，当初中国四国地区の徳島で開催する計画もありましたが，学会員数が 1 万人を超える規模になっており，アクセスに優れる大阪での開催となりました。また，企画運営が学会本部主導に移行する過渡期の学術大会として，主管である大会長と学会本部との役割分担を明確にしながら学術大会小委員会を構成して準備してきました。

本学術大会では，「インプラント治療における医療安全・安心」をメインテーマに掲げ，エビデンスに基づく安全・安心なインプラント治療を提供することを目指して，今一度基本から再考していくための企画を用意しました。

医療・倫理委員会主催のシンポジウム 1「医療安全・安心における患者の声を傾聴し，医療者に求められていることを考えよう」では，NPO 法人ささえあい医療人権センター COML の辻本好子先生から貴重な「患者の声」をお聞かせいただき，医療委員会の伊東隆利先生，倫理委員会の阿部成善先生からは医療者側そして学会の取り組みをお話しいただきました。学術委員会主催のシンポジウム 2「歯科医療の安全・安心をどのように考えるか：特にインプラント治療に関連して」では，6 学会合同のシンポジウムとして学術委員長の前田芳信先生を座長に，日本歯周病学会から申　基喆先生，日本矯正歯科学会からは森山啓司先生，日本補綴歯科学会からは佐藤裕二先生，日本口腔外科学会からは矢島安朝先生，日本歯科麻酔学会からは宮脇卓也先生にご登壇いただき，各

川添堯彬理事長の挨拶

第一会場

シンポジウム 1

ポスター会場

学会の取り組みについて講演いただきました。同じく学術委員会主催のシンポジウム３「口腔インプラントの臨床エビデンスはどのくらい整ったかー診療ガイドラインの策定に向けてー」では，古谷野潔先生，井上　孝先生，窪木拓男先生，春日井昇平先生によって，現在の臨床エビデンスの解説と今後の展望が示されました。

大会校企画では「CT 検査」，「解剖」，「安定性測定機器」，「外科処置・サイナスリフト」といったインプラント治療に必須の基本知識の整理から，男女共同参画の観点からも欠かせない「女性インプラントロジスト」をテーマとした５つの教育セミナーが行われました。また，世界のインプラント臨床の先端情報に接する企画として，特別講演や４つのワールドサテライトセミナー，国際セッションでは，各会場とも大勢の聴講者で賑わっていました。さらに，若手インプラントロジストの登用による「咬合を考える」ワークショップでは会場から溢れ出すほどの聴講者が集まり，その関心の高さは今後の大きな方向を示すものであると考えられました。

専門医教育講座，専門歯科衛生士教育講座，専門歯科技工士教育講座や専門医取得のためのセミナーでは各会場を埋め尽くさんばかりの参加者で，活発な質疑応答が展開されました。

学会員も１万人を超えてなお躍進を続ける本学会に相応するように，4,012 名もの参加登録者を数えました。最大級の参加者数，演題数，企画数，さらには参加企業・展示ブース数をもって，盛大で活発な学術大会となりました。これもひとえに，皆様方のご指導とご協力によるものと深く感謝申し上げます。そして，すべての参加者がそれぞれのインプラント治療への携わり様に応じた情報や展望に触れて有意義な時間を共有していただけたのであれば，幸いに考えております。

共催企画を運営していただいた日本歯科放射線学会，日本歯科麻酔学会，日本口腔検査学会，ならびに各企画にご講演いただいた方々に，甚大なる感謝を申し上げます。また，各企業の皆様方には，企業展示，ランチョンセミナー等に大変多くのご協力をいただき感謝申し上げます。

ワールドサテライトセミナー　M. Roccuzo 先生の講演

懇親会

女性医療従事者のためのセミナー　西村先生の講演

デンツプライ賞受賞者記念撮影

日本歯科医学会会長賞受賞者紹介

この度，川添堯彬理事長は長年にわたる補綴学およびインプラント学での教育・研究・臨床への貢献と歯科界全体におよぶ活躍，伊東隆利常任理事は長年にわたる地域歯科医療への貢献，特に救急医療体制確立への貢献により，平成21年度日本歯科医学会長賞を受賞されました。学会員一同，川添理事長と伊東常任理事に心よりお祝い申し上げます。

川添堯彬理事長

1942年生まれ
大阪歯科大学卒業
大阪歯科大学大学院修了
大阪歯科大学教授
日本顎頭蓋機能学会会長
日本補綴歯科学会会長
日本口腔インプラント学会会長
(社)日本口腔インプラント学会理事長
大阪歯科大学理事長・学長

伊東隆利常務理事

1942年生まれ
日本大学歯学部卒業
熊本県歯科医師会常務理事，副会長
日本歯科医師会生涯研修セミナー講師
平成12年　厚生労働大臣表彰(救急医療功労)
(社)日本口腔インプラント学会常務理事
日本大学客員教授
医療法人伊東会伊東歯科口腔病院理事長・院長

ドイツ口腔インプラント学会との学術協定が結ばれる

国際渉外委員長　渡邉　文彦

第39回日本口腔インプラント学会学術大会時に本学会とドイツ口腔インプラント学会（DGI: German Association of Oral Implantology）との学術協定の調印が行われました。学術協定は，口腔インプラントに関する学会レベルでの学術交流を目的に，学術情報の交換，講師の派遣，学術雑誌の交換等を行うものです。

本学会の川添堯彬理事長とDGI会長Prof. Dr. Gunter Dhom先生との間で以前より学術交流を進めており，今回の調印の運びとなりました。DGIからは会長のGunter Dhom先生が来日予定でしたが，急用で来日できず，今回講演者として来日したDGI理事のProf. Dr. Karl-Ludwig Ackerman先生がGunter Dhom先生が署名された協定証をビデオメッセージとともに持参され，理事会の場で川添堯彬理事長が協定書に署名され，調印が行われました。DGIは，会員6,000人のヨーロッパ最大のインプラント学会であり，オーストリア（OGI）およびスイス（SGI）の各インプラント学会とすでに学術協定を結んでおり，活発な学会活動を行っています。もちろんDGIの学会はドイツ語のみではなく英語の通訳があり，我々も参加できます。近年，ヨーロッパのインプラント治療のレベルは非常に高いものがあり，我々にとっても大きな情報源となり，また学術交流の場が広がることを期待します。なお，協定についてはDGIの学会誌ZZI 2009, 25（4）322ページに掲載されています。

第40回（社）日本口腔インプラント学会学術大会のご案内

大会長　松沢　耕介
実行委員長　越智　守生

この度，第40回（社）日本口腔インプラント学会学術大会を，日本の最北・最大の都市札幌の地で９月17日（金）・18日（土）・19日（日）の３日間，札幌コンベンションセンターおよび札幌市産業振興センターを会場として開催いたすことになりました。

メインテーマとして，『信頼性あるインプラント専門医』を掲げて，専門医とは何ぞやということを掘り起こして考えてみたいと思います。

この40回という節目で，一気呵成に進んできたわが国の口腔インプラント学を振り返って，基礎と臨床の教育の場ではきちんとかみあっているのか，卒前，卒後の教育の間では齟齬を来たしていないのか，大学と臨床家との間には緊密に連携ができているのか，わが国と海外との間に乖離が生じていないのか，といった種々の問題を温故知新として改めて掘り起こしてみたいと考えています。

いたずらに海外からの情報を鵜呑みにして，検証すらもせずに取り入れるといった非科学的な，まさにトレースあるいは物まね的な手法のみでの報告，またそれに同調するかのような業界紙のお祭り騒ぎにも似た手法による普及といったことから起こる，インプラント学をより学問とは遠い位置に置き去りにしようとするかの如きこの騒ぎをちょっと脇に置いて，じっくり考えては如何かという思いでこの学会の計画を立ててみました。これからインプラントを手がけようかなと思っておられる先生方，あるいはベテランの先生方も少し肩の力を抜いて一緒に考えてみましょう。

近年，どの学会でも大なり小なりそうでありますが学会主導ではなく，業者主導のきらいが残念ながら大手を振って横行しており，学会に出席して自分の聞きたい講師の講演をじっくり聞いて，明日からの自分の臨床に取り入れていこうといったことにはなっていないような気がいたします。

いよいよ来年度から歯科衛生士，歯科技工士の皆様には今までの暫定措置もなくなり，本格的に専門医と同様な試験が課せられることになりましたので，このためのセミナーも企画しました。ここらで何か一つでも自分にとって役に立つことを身につけてお帰りいただければ主催者として身に余る光栄はありません。

当地はこの時期，季節も安定し，食べるものも豊富で，観光も小一時間の範囲で風光明媚な場所もございます。会員の皆様におかれましては奮って御参集賜れば，実行委員会といたしましては真に感謝に耐えません。

一般演題の募集，参加登録等はすべて学術大会ホームページから行います。また，演題締め切りは，５月７日（金）までとなっております．皆様から多くの応募をお待ちしております

第 39 回学術大会受賞者紹介

優秀研究発表賞

十河基文（株式会社アイキャット）
「インプラント治療における『臨床的骨質診断』の検討―医科用 CT，歯科用 CT における CT 値の信頼性について―」

野阪泰弘（野阪口腔外科クリニック）
「インプラント予定患者における抜歯窩の軟組織形成について」

山田将博（東京歯科大学有床義歯補綴学講座）
「骨形成促進因子として新たに発見されたアミノ酸誘導体」

後藤崇晴（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部口腔顎顔面補綴学分野）
「アタッチメントの違いがインプラントオーバーデンチャー床下組織の負担圧に及ぼす影響」

デンツプライ賞

長尾大輔（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部口腔顎顔面補綴学分野）
「骨芽細胞における持続的圧縮力により誘導された Hps25 の機能解析」

田村　直（北海道医療大学クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野）
「厳密な嫌気条件下におけるインプラント周囲溝の細菌叢」

長澤麻沙子（新潟大学医歯学総合研究科生体歯科補綴学分野）
「動物実験モデルを用いたオッセオインテグレーション崩壊機序の検索」

井出吉昭（日本歯科大学生命歯学部発生再生医科学分野）
「“ Bony canine triangle ” の形態学的検討」

平成 21 年度表彰者紹介

学会特別功労賞受賞者

松沢耕介先生が学会特別功労賞を受賞されましたので先生のご略歴等をご紹介いたします。

昭和 17 年 11 月 3 日生まれ
日本大学歯学部卒
職歴等
北海道立札幌医科大学口腔外科助手
松沢歯科医院（札幌市西区）院長
学会活動等
北海道大学病院客員臨床教授
日本口腔インプラント学会常務理事
(社)日本口腔インプラント学会常務理事
(社)日本口腔インプラント学会東北・北海道支部支部長

学会特別賞受賞者

芝　燁彦先生が学会特別賞を受賞されましたので先生のご略歴等をご紹介いたします。

昭和 14 年 2 月 9 日生まれ
職歴
昭和 41 年　東京医科歯科大学歯学部第 3 歯科補綴学講座助手

昭和 52 年　東京医科歯科大学歯学部第 3 歯科補綴学講座講師
昭和 53 年　昭和大学歯学部第 2 歯科補綴学講座助教授
昭和 56 年　昭和大学歯学部第 3 歯科補綴学講座主任教授
平成 13 年　昭和大学歯学部有床義歯学講座主任教授
平成 16 年　昭和大学名誉教授，燁門会研究センター理事長

日本補綴歯科学会専門医・指導医
日本口腔インプラント学会専門医・指導医
日本顎関節学会専門医・指導医
日本口腔機能水学会認定医・指導医
日本歯科理工学会 Dental Materials Adviser，Dental Materials Senior Adviser

学会活動
日本口腔機能水学会会長，昭和歯学会名誉会員，口腔病学会名誉会員，日本補綴歯科学会名誉会員，日本唾液腺学会名誉会員，日本電気泳動学会名誉会員，日本機能水学会理事，日本氷温学会理事，日本口腔インプラント学会評議員，日本スポーツ歯科医学会評議員，日本歯科教育学会評議員

学会優秀論文賞受賞者

藤澤　健司
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス部口腔顎顔面外科学分野

この度は平成 21 年度日本口腔インプラント学会優秀論文賞を受賞させていただき，まことに光栄に存じます。正直，私のような者が本当にこのようなすばらしい賞をいただいてよいものかとも思っております。ご選考いただきました先生方に心より感謝を申し上げます。

私の研究内容は即時荷重インプラントに関する臨床研究です。即時荷重インプラントは，従来の二回法と比較して治療期間が劇的に短縮され，早期の審美と咀嚼機能の回復が得られるため患者の満足感も大きく，近年急速に普及してきました。ところが，適応を誤ればインプラント治療そのものの失敗につながるため，客観的な適応条件を確立する必要がありました。私どもはブローネマルクシステムを用いた即時荷重インプラントを，主に無歯顎や多数歯欠損症例に対し適応してきました。これまでに行った症例の臨床的検討を行ったところ，術後 3 年経過時の臨床成績では，インプラント体の累積生存率が 99.4％と，高い成功率を示しました。また，インプラント体の本数や長さ，初期固定，暫間上部構造，経時的な骨吸収などに関して検討するとともに，無歯顎に対する即時荷重インプラントの適応条件を考案いたしました。今後もこの適応条件に従って症例数を増やし，患者の QOL の向上に努めてまいりたいと思っております。

最後に本研究に際して終始懇切なるご指導，ご高閲を賜りました本学口腔疾患制御外科学分野宮本洋二教授をはじめといたしまして，ご指導いただきました諸先生方に心より御礼申し上げます。

渡邉　信幸
日本大学松戸歯学部生化学・分子生物学講座

この度，平成 21 年度日本口腔インプラント学会優秀論文賞を受賞させていただき，大変光栄に思っております。

オッセオインテグレーションの促進を期待してチタン表面に骨誘導を促進する細胞外基質成分な

どの生体材料を付加する研究が進んでいます。しかしながら，細胞外基質成分をコートしたチタン上での骨芽細胞の遺伝子発現の動態は不明であります。骨芽細胞をチタン表面で培養するとアポトーシスを誘導する。本研究では，フィブロネクチン由来の GRGDSP をチタン表面にコーティングすることで，アポトーシスの抑制因子 Birc6 の発現を誘導することが示唆されました。

チタン表面へのフィブロネクチン由来 GRGDSP ペプチドコーティングは骨芽細胞を増殖，分化促進することで骨形成を促進し，チタンインプラント体のオッセオインテグレーションを促進することに有用であると考えられます。今後は更なる検討を重ね臨床応用していきたいと考えております。

最後に，研究に際してご指導，ご鞭撻を頂きました日本大学松戸歯学部生化学・分子生物学講座・安孫子宜光教授，また研究にご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

黒木　克哉
大阪歯科大学解剖学講座

平成 21 年度日本口腔インプラント学会優秀論文賞という大変光栄で夢のような賞をいただきまして，学会の皆様方に感謝申し上げます。

この度の研究では，諏訪教授のご指導のもと竹村准教授のご協力もいただきました。また，戸田講師の熱心な直接のご指導無くしては決して完成することは出来ませんでした。そして，実験をお手伝いしていただいた講座のスタッフの皆様や専攻生の仲間の先生，大学院生の協力もいただきました。すなわち，講座全員で受賞したものであります。

この研究は，62 年という大阪歯科大学解剖学講座の歴史において，故谷口教授ならびに太田教授時代に考案されたアクリル樹脂脈管注入鋳型法をもとに最新のマイクロ CT を組み合わせて行いました。アクリル樹脂脈管注入鋳型法は，過去数多くの OB の先生方に用いられて完成された手法で，たいへん参考になりました。マイクロ CT についてアドバイスをいただいた国島様にも感謝いたします。

最後になりますが，私に力を与えていただいた故吉田クインテッセンス編集長，私を大阪歯科大学解剖学講座というすばらしい講座へと導いていただきました故今井前学長に最大の感謝を述べたいと思います。いまにも故今井前学長の，「黒木，よかったな」と声が聞こえてきそうな気がします。

学会奨励論文賞受賞者

五十嵐　崇恭
日本歯科先端技術研究所

このたびは平成 21 年度日本口腔インプラント学会奨励論文賞を受賞させていただき，大変光栄に存じます。また選考していただきました諸先生方に心より感謝申し上げます。

本研究は，Bioceram などのアルミナ製インプラントが周囲軟組織との適合性が良好であるとの臨床的経験から，アルミナにプラークや歯周病菌が付着しづらいのではないかという着想に至り，チタンインプラントにアルミナ薄膜をコーティングすることにより peri-implantitis 起因物質の付着を抑制し，より良好な予後が望める新規インプラント材料の開発に役立つのではないかと考え実験を行いました。

その結果，物理的蒸着法によりアルミナ薄膜をチタン表面に強固にコーティングすることが可能であったこと，アルミナコーティング面では *P.g.* 菌の付着量がチタン鏡面の 5 分の 1 以下であ

ったこと，またそれは材料表面の荷電状態によるのではないかということがわかりました。

チタンはオッセオインテグレーションを獲得することでインプラント材料として良好に機能しますが，口腔内に露出し常に感染の危険にさらされるゆえ，感染のリスクを下げる方法の一つとして有用な研究であり，今後も検討を重ねていこうと考えております。

終始懇切なるご指導，ご校閲を賜りました東京歯科大学口腔科学研究センター口腔インプラント学研究部門吉成正雄教授，所属する日本歯科先端技術研究所の諸先生方，ご査読いただきました先生方, 学会関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。

日野　　純
北海道医療大学歯学部顎顔面口腔外科学分野

この度は平成 21 年度日本口腔インプラント学会奨励論文賞をいただきまして，誠に光栄に思っております。また御選考いただきました諸先生に心より感謝を申し上げます。

従来ハイドロキシアパタイト（HAp）は組織親和性に優れ骨伝導能を有することから，骨補填剤として広く用いられてきましたが，非吸収性であることから生体のリモデリングシステムに組み込まれることがなく，そこで我々は吸収性の新規材料である，表面から内部に向けて結晶性と化学組成が連続的に変化する傾斜機能アパタイト（functionallygraded HAp：fg-HAp）を開発しました（特許第 3718723 号)。骨誘導実験はこれまで種々の担体を様々な部位へ埋入して行われていますが，骨膜上へ埋入した研究報告は少なく，中でも HAp を骨膜上へ埋入した報告はなく，本研究では埋入部位として骨膜上を選択しました。fg-HAp に BMP-2 を添加しラット頭部骨膜上に埋入したところ，4 週間後には埋入物の中心部まで旺盛な骨形成がみられ新生骨と頭頂骨とは骨架橋が起こらず骨膜を介するという結果が得られました。この既存骨と連続していない新生骨を摘出し，悪性腫瘍の摘出後など直接的な骨造成が難しい場へ自家移植を行うという治療技術への応用を目指し，今後も研究活動に精進していく所存です。

最後に，研究に際して終始御懇篤なる御指導，御教示，御校閲を賜りました本学顎顔面口腔外科学分野有末　眞教授，村田　勝准教授，北海道立工業試験場赤澤敏之科長をはじめ諸先生に心より御礼申し上げます。

学会優秀研究発表賞受賞者

山田　陽一
名古屋大学医学部附属病院

この度は，平成 21 年度学会優秀研究発表賞を賜り大変光栄に存じ，心より感謝申し上げます。また，ご選考いただきました諸先生方，会員の先生方には改めて深謝いたします。今回の演題は「歯槽骨再生医療のインプラント治療への臨床応用とその経過」です。

インプラント治療は歯科治療法の一選択肢となり，予知性の高い治療として認識されてきておりますが，歯槽骨が不足していると通常骨移植が必要となります。その旨を患者さまに説明しますと，負担の大きな移植をしてまではと肩を落として断念される姿をよく目の当たりにし，侵襲の少ない安全性の高い骨増生法が望まれていることを痛感しておりました。この問題を打破すべく進められてきたのが，再生医療を用いた骨増生です。

再生医療は胚性幹細胞（ES 細胞)，人工多能性幹細胞（iPS 細胞）の発見により注目をあび，再生医学から医療へと変革を遂げつつ，臨床応用が進められています。中でも臨床応用は歯科分野

が先駆けて行われています。再生医療の利点は，自家骨移植などに比べ侵襲が少ない，人工材料と比べ骨形成期間が早く，自己材料を応用しているため感染などの危険性も低く，有効性，安全性が確認されていることに加え，凍結保存できるため再利用が可能なことです。われわれの臨床応用もおよそ６年経過しておりますが副作用，骨吸収もほとんど認められず，良好な結果を得ています。また，本研究は患者さま自身の細胞を必要に応じて作製するオーダーメイド医療であるため，体に優しい次世代の先進医療といえます。すでに夢物語から現実の医療となっており，臨床現場での治療法のパラダイムシフトがおこるのもそう遠くないでしょう。

今回，受賞させていただきましたことを励みに，インプラント治療の質向上，一日も早い患者さま貢献に帰依できますように，臨床，研究に邁進していきたいと存じます。最後に本研究は名古屋大学大学院医学研究科頭頸部感覚器外科学講座・上田　実教授のご指導の下，同教室の諸先生方の成果であることを加え，厚く感謝申し上げます。そして，本学会の諸先生の皆様には今後ともご指導，ご鞭撻を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

熱田　　生
九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座咀嚼機能再建学分野

この度は，我々のような若い会員にとって身に余る栄誉となる優秀研究発表賞をいただくことができ，大変光栄に思います。研究を支えて下さった多くの先生方，さらに選考して下さった先生方に心より感謝申し上げます。

私は大学院生の頃から，インプラント周囲における上皮封鎖の解析および向上を主たるテーマとして研究を続けてまいりました。その結果を，このような形で評価していただき本当に嬉しく思っております。

インプラント治療が歯科における欠損補綴の主要な選択肢となっている現在，インプラント手術において骨に対するオッセオインテグレーションの獲得はもはや確実となっています。審美や長期予後の観点から歯周組織のコントロールが新たな課題となっているにも関わらず，軟組織については未だ解明されていないことも多く，臨床結果は経験的に憶測することしかできないのが現状です。そのため軟組織に着目した研究を続けることは価値あることと考えています。

そして本学会では「プラットホームスイッチングシステムは上皮封鎖性の向上に有効か？」という内容で発表をさせていただきました。

プラットホームスイッチングシステムは，術後におけるインプラント周囲の骨吸収を抑制する優れた治療法とされ近年積極的に用いられています。しかし，このシステムについて臨床的な有効性を裏付ける基礎的データは未だほとんど報告されていません．そこで我々はこのシステムの軟組織に対する影響に着目し，実験を行いました。

ラットの口腔内に，実験用インプラントとしてプラットホームスイッチングシステムと従来システムのインプラントモデルを埋入することで，以下の３つの項目をそれぞれ比較，検討しました。１）インプラント周囲上皮の形態学的な解析，２）インプラント周囲における上皮封鎖性と３）インプラント周囲上皮深部増殖の定量的な評価です。

そしてこれらの実験によりプラットホームスイッチングシステムは，上皮封鎖性を向上させるとともに上皮の深部増殖を抑制するのに有効なデザインであることが示唆されました。

このことはあくまで上皮封鎖性向上のための一つの選択肢だと思っています。

今後は生体反応，材料の改善を加え，インプラント周囲へのより高い上皮封鎖性獲得を目指します。

最後に，これからも多くの先生方から支えていただき研究を続けていければと思います。機会がありましたら皆様からの貴重なご助言，ご指導をお願いいたします。

デンツプライ賞受賞者

佐野　将史
大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座
（歯科補綴学第二教室）

この度は，第38回日本口腔インプラント学会におきましてデンツプライ賞を受賞させていただきました。まことに光栄なことであり，心より感謝しております。

本研究は，上顎無歯顎症例に対するインプラント治療において，最少本数のインプラントにより安定した咬合支持を得るための生体力学的条件について検討したものであります。まず，顎堤の高度に吸収した無歯顎乾燥頭蓋骨について，骨の内部構造まで再現した，可及的に生体に近い三次元有限要素モデルを作成し，その妥当性が示された後に，以下の5種類のモデルを作成し検討を行いました。A：天然歯の状態に近い14本単独埋入モデル，B：Aのモデルで上部構造をメタルで連結した14本連結埋入モデル，C：左右犬歯部，第二小臼歯部，第二大臼歯部の6本埋入モデル，D：Maloによって開発されたAll-on-4モデル，E：前歯部のみの前歯部6本埋入モデル。検討の結果，C：6本埋入モデルはA：14本埋入モデルと変位ならびに相当応力値が類似し，安定した咬合支持が得られている可能性が示唆されました。よって，上顎無歯顎症例において安定した咬合支持を得るためには，少なくとも前歯部に2本，小臼歯部に2本，大臼歯部に2本の6本のインプラントが必要であることが示唆されました。今後は患者のCTデータからより生体に近い三次元有限要素モデルの作成が可能になり，術前のシミュレーションを通して，より予知性の高いインプラント治療が可能になることが期待されます。

最後に，本研究をご指導いただきました前田芳信教授，池邉一典講師，ならびにご協力いただきました当教室の諸先生方に深く感謝申し上げます。

鎌田　浩一
広島大学大学院医歯薬学総合研究科顎口腔頸部医科学講座歯科補綴学研究室

この度は，第38回日本口腔インプラント学会デンツプライ賞を受賞させていただき，大変光栄に思っており，また，選考委員の諸先生方に，心より感謝致します。

本研究は，日々の歯科診療において，口腔内の組織から簡便に骨分化可能な細胞を採取できれば歯槽骨再生の細胞摂取時の負担が軽減されるという考えから，抜去歯の歯髄や歯肉から，細胞表面抗原を用いて，骨分化可能な細胞を分離する方法を検討し発表しました。両細胞は酵素処理にて組織を分散させ，PCR法にてマイコプラズマの混入がないことを確認した上で凍結し，用いた抗体はCD146，166，271，stro-1で，FACSによる各抗体陽性率の検出，MACSによる歯髄，歯肉細胞の分離ならびに，骨分化能試験として，アリザリンレッド染色およびアルカリフォスファターゼ活性を測定しました。その結果，FACSにて両細胞ともCD166が最も陽性率が高く，MACSシステムで分離した両細胞ではCD166陽性細胞群は，陰性細胞群に比べ，高い骨分化能ならびに高いALP活性を示したことより，CD166が，歯髄や歯肉細胞中から骨分化能の高い細胞を分離するのに適した抗体の一つであることを示しました。今後は臨床応用を目標に研究していきたいと思っています。

最後に，研究に際して終始ご指導，ご鞭撻いただいた長崎大学西村正宏先生，本学貞森紳丞先生，東北大学濱田泰三教授，本研究の機会を与えてくださり，ご指導，ご高覧を賜りました本学先端歯科補綴学分野赤川安正教授をはじめとする諸先生方に心より厚く御礼申し上げます。

第４回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会開催報告

教育委員会委員長　渡邉　文彦

平成21年11月28日（土），29日（日）の２日間，大阪新梅田研修センターにて第４回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会を大阪大学歯学部補綴学第二教室（前田芳信教授）の担当で開催致しました。参加者は106名で，今回のテーマは第１回より継続して行っております「適切な診断および安全・安心のインプラント外科埋入手術」をテーマに，インプラント治療の術前にCT撮影は必要か，炎症総論からのインプラント外科手術の成功を考える，インプラント周囲のソフトテッシュマネージメント，インプラント外科手術に伴う偶発症について，骨造成術におけるインプラント外科基本手術，インプラント外科手術を行ううえでの全身管理，インプラント治療に関わる医療問題について，現場で活躍されております７名の講師，十河基文（大阪大学歯学部，株式会社ICAT），矢島安朝（東京歯科大学口腔インプラント学講座），南　昌宏（大阪市開業），高森　等（日本歯科大学附属病院インプラント診療センター），堀内克啓（大阪大学歯学部，大阪開業），関根浄冶（島根大学医学部口腔外科），若松陽子（関西大学法学部，学会顧問弁護士）先生らで２日間にわたり実施致しました。

第１日目の午後１時から１時30分まで受付を済ませていただき，開講式の後，午後１時40分より開始しました。一人目の講師の十河基文先生は，インプラント治療における診査のパノラマエックス線写真の限界，医科用CTが日本では世界の1/3存在することより，これを有する近くの医科病院との連携の必要性，またCTのインプラント治療における必要性とさらにこのダイコムデーターを用いての診断，シミュレーションとCAD/CAMによるサージカルガイドプレートによるガイドサージェリーについてまとめCT撮影の重要性を強調しました。二人目の矢島安朝先生は生体に切開，インプラント埋入手術などが加わると，その反応として発赤，腫脹，疼痛，発熱，機能障害の“炎症の５大症候”が起こり，炎症の基本図からインプラント埋入手術を導く方法を考えていく必要があると話を切り出され，切開，剥離，インプラント窩形成，縫合の基本的外科術式が守られているかにかかっていると強調され，このためには壊死組織を最小限にする基本外科手技が低侵襲インプラント治療へつながると結論付けました。三人目の南　昌宏先生はインプラント治療には審美的回復が非常に重要であり，このためには単にインプラント上部構造を審美的に仕上げるだけでなく，インプラント周囲組織を天然歯の周囲歯肉に見られるような自然感に可能な限り近づける軟組織のマネージメントが必要不可欠であるとし，ペリオドンタルマイクロサージェリーのデモンストレーションを加え分かりやすく講演されました（写真）。

四人目の高森　等先生はインプラント外科手術に伴う偶発症について，ドリルの破折，隣接歯根の損傷，出血，下歯槽神経の損傷，インプラント体の上顎洞迷入，インプラント体の動揺，感染，熱損傷，顎骨骨折，誤飲・誤嚥についての臨床例を提示し，これを予防する対策と，起こった場合の対応について講演されました。午後６時より６時30分まで本日講演を行った４名の講演者と翌日講演予定の堀内克啓先生による全体ディスカッションを行い，CTの必要への有無，またCTにより得られた情報の信頼性について，また骨粗鬆とインプラントの適応について会場より質疑応答

が行われました（写真）。

午後６時30分，１日目の講演が終了し，バスにて宿泊先のリーガロイヤルホテルに向かい，チェックイン後，午後７時30分よりリーガロイヤルホテル「桐の間」にて懇親会が開催されました。席は指定となっており，各講演者，理事長以下主催者を各テーブルに分散させて，できるだけ講演者や主催者と会話，質問ができるようにしました。まず，川添堯彬理事長より本講習会の目的と今後の方向について述べられ，前田芳信先生（教育委員会委員，学術委員長）とスタッフの方々にお礼を述べ挨拶されました（写真）。

その後，前田芳信先生より挨拶があり乾杯へと進み，乾杯は参加者を代表して大阪歯科大学歯科技工士専門学校・歯科衛生士専門学校校長　末瀬一彦先生の音頭で開宴しました。出席者は各テーブルで，またテーブルを離れて挨拶，ディスカッションを行い，有意義な時間を過ごしました。午後10時に中締めがなされましたが，それ以降も会場を使う予定がなく，遅くまで宴会が続いていました（写真）。

第２日目はホテルで各自朝食をお取りいただ

いた後，チェックアウトをして午前８時，８時15分，８時30分発のバスで梅田の研修センターに行っていただき，再度受付をして，午前９時より講習会がスタート致しました。一人目は堀内克啓先生で豚顎骨を用いての骨造成術におけるインプラント外科基本術式について，切開，剥離，減張切開，縫合のポイントをデモンストレーション，画像を用いて分かり易く，細かく講演されました。二人目の講演者の学会顧問弁護士の若松陽子先生はインプラント治療に関わる医療問題について，不適切なインフォームドコンセント，インプラント治療時のトラブルなどの事例を挙げ，その問題点と対応策について分かり易く講演されました。物的証拠だけでなく，医療スタッフの証言などの人的証拠も有効であることから，信頼できるスタッフとの平素からの意思疎通も必要であること，また事故が起きた場合いかに迅速に，適確に対応するかが重要と報告されました。講演後，前日の講演者も加え，午前11時から11時30分まで30分間質疑応答とディスカッションが行われました。その後，昼食をとっていただき，午後12時30分より午後１時30分まで三人目の関根浄冶先生がインプラント外科手術を行う上での全身管理，全身状態の把握事項について，さらにビスフォスフォネート（BP）製剤投与患者への対応について講演を行いました。午後１時30分より２時まで山内六男庶務担当理事から専門医制度等の説明があり，２時に講演を終了しました。その後，閉講式を行い２日間のプログラムすべて受講された方に受講証をお渡しし，講習会を終了致しました。

次回開催については学会ホームページに掲載致します。

指定研修施設紹介

神奈川歯科大学附属病院インプラント科

施設長　木本　克彦

神奈川歯科大学附属病院インプラント科は，今年度，本学会の指定研修施設に認定されたばかりの新しい施設です。当附属病院のインプラント治療は，平成５年から特殊外来として，保存・補綴・口腔外科所属のメンバーが集まりスタートしています。その後，平成 12 年９月には，インプラント治療を希望される患者さんが増えはじめたことから，院内での専門診療科の機運が高まり，インプラント科が正式に開設されました。

また，今年に入り，インプラント診療の中でも大学病院としての専門性を強く打ち出すために，インプラント科内で顎再建インプラント外科外来と歯科インプラント外来に分けて診療を行っています。顎再建インプラント外科外来では，主に大きな骨造成を伴うインプラント治療を担当し，地元の開業医さんからの紹介も多く，病診連携としての一翼を担っています。

一方，歯科インプラント外来は日常の成人診療の過程においてインプラント治療を希望される患者を対象に，主に歯周治療や全顎的な咬合の再構成（ Oral rehabilitation ）の必要なインプラント症例を担当しています。いずれの症例においても，スタッフが週一回全員集まり，チームアプローチを主体とした治療計画を立案しています。

現在，インプラント科は，附属病院の６階に顎再建インプラント外科外来，３階に歯科インプラント外来の診療室があります。スタッフは，医員を除いて全員他科との併任であり，口腔外科医３名，補綴医２名，保存医２名，衛生士３名そして医員５名の計 15 名が主なメンバーで，麻酔科，放射線科の協力を得て診療を行っています。

教育面では，平成 20 年度より学部４年生に対して歯科インプラント学の講義を開講しています。科目責任者は笹倉裕一臨床教授（口腔外科）が担当し，講義回数は８回（ 10 時間）行っています。講義内容は，インプラントの歴史的変遷から始まり，インプラント治療に必要な解剖学および病理，インプラントの材料学と生体適応性，インプラント治療計画の立案と手術学，インプラント治療適応の拡大，インプラント補綴学ならびに咬合学，インプラント技工学，メインテナンスと偶発症について，各科の専門教員と招聘講師が分担して行っています。学生評価も上々で，臨床実習を行う前に欠損治療の１つのオプションとして有効な治療法であることを理解してもらうよう取り組んでいます。また臨床実習では，当番制をしいて，院内生に実際のインプラント診療の見学・アシストと症例検討会を行っています。さらに，卒後研修医に対しても歯科インプラント学の講義を行っており，今後は卒前と卒後教育を俯瞰した総合的な教育体系を構築していく必要性を感じています。

インプラント再建歯学研究会（ IIRD ）

施設長　定永　健男

このたび私どもインプラント再建歯学研究会は，(社)日本口腔インプラント学会の認定研修施設となりました。新しく学会の認定を受ける条件は厳しく，大変苦労しましたがこれも関係各位の御協力，御尽力の賜物と感謝しています。

わが国のインプラントもすでに歯科治療のなかに定着しておりますが，歯科医師数の過剰，いつまでも変わらぬ診療報酬の低さで経営的に厳しくなった開業医は，業者指導のまま安易にインプラ

ントにとびつき，事故やトラブルが増えていると聞いております。そこが学会の憂慮するところであり，専門医制を導入した根拠であると理解しております。

研修施設としては，まだ語れるような歴史はありませんが，歴史というものは作っていくものです。積極的に施設（会）を発展させていく所存でございます。

開設してまもない会なので，いたらぬ点も多々あると思いますが，いずれは大きな会になるものと確信しております。

また，学会の認定施設として学会の規約に従い協力していくことは当然ですが，会としてはグローバルな展開もして行きたい，と考えております。

IIRD の目的は，多くのインプラント専門医の育成，正しいインプラント情報の共有，会員間の扶助，他団体との交流，インプラントを通しての社会的な貢献，です。

皆が楽しく勉強していける会を目指します。

会長　塩路省吾，研修施設長　定永健男，副会長　山西泰史，古屋延明，専務理事　藤野　茂，総務　和田　猛，小長井信司，高橋，杉山他数名で会員のお世話をすることになりました。

専門医や認定講習会（旧 100 時間コース）に興味がない先生でも結構です。インプラントに興味がある先生方の入会お待ち申しております。

平成 21 年度ケースプレゼンテーション試験合格者

兼松義典，小林英三郎，長富浩一郎，吉川朋宏，
関　孝史，中澤正博，林　千津子，丸山千恵，
中野正博，朝日保州，鈴木祥夫，石塚義彰，
原　紀文，平川陽基，武山　剛，原　聰，
湯浅算章，上田芳男，北沢　敦，上原　亮，
中野聖士，小沢宏亮，石川明寛，後藤洋次，
森　啓一，高橋研太朗，坂本憲昭，芳賀浩昭，
伏見　肇，宮城英生，磯村哲也，相澤八大，
濱田正人，川前通朗，鍋島弘充，齋藤　崇，
玉木克弥，吉本光一郎，柏尾達也，上田貴彦，
井上　学，早川浩太郎，板橋基雅，桜井剛史，
河野寛二，英保武志，松井新吾，山崎行庸，
矢原憲一，日比由里子，力武康次，辻野哲弘，
秦　和義，新海　誠，友村善則，鈴木敏雄，
近藤誉一郎，前川修一郎，栗本武俊，安岡大志，
黒田真司，竹之内大助，新崎公子，服部重信，
川崎智之，石井洋行，児玉　崇，宮本武直，
西中英伸，嶋田　潔，広瀬大希，今村直樹，
土井伸浩，木村勝彦，吉田忠司，北村清太，
寺本修久，小田師巳，日根野谷仁，山田一穂，
藤田忠生，戸田裕士，竹之内優花，佐藤周二，
田　昌守，毛塚和哉，井下田繁子，藤本佳之，
小林　平，稲沢陽三，中村啓嗣，豊田寿久，
笠原邦昭，原　哲三，安田淳一，安光秀人，
高木哲朗，酒井康雄，山本成允，伊東泰蔵，
岩野義弘，田村暢章，案西浩平，小川喜生，
谷津匡規，内堀健二，高橋恭久，三田村　聡，
平賀　泰，濱田直光，甲斐久順，細原政俊，
正木千尋，六本裕嗣，永田　睦，畑中隆志，
小林充明，山添淳一，奥谷暢広，大和田弘幸，
阪田俊智，高木忠徳，浅野善一，才野木敏夫，
高薄紀男，江藤賢治，寄本雅智，上田和孝，
金平俊毅，和久雅彦，常田幸斉，中野　環，
佐野寿哉，山下秀一郎，大石建三，宮内陸行，
砂野彰宏，齋藤善広，杉山　豊，上松隆司，
北所弘行，増木英郎，秋本　清，松永興昌，
前田早苗，岩田雅裕，岩本憲明，鮎川保則，
湯浅哲也，椋梨兼彰，齋藤健介，内田正敏，
松川寿幸，山田雅司

新入会者紹介

（平成 21 年 7 月 1 日～平成 21 年 12 月 25 日）

足立安弘，　松井隆史，　高　春陽，　石川清規，
高嶋真樹子，真原ゆかり，竹内明美，　田中文子，
吉村良子，　海本美栄，　照井聡美，　浅田のぶ子，
野崎　睦，　佐藤有美，　志村和秀，　岡本直也，
須田孝則，　西村国浩，　木附佑一郎，江川昌宏，
干川明佳，　ニノ倉輝子，猪子芳美，　仲川百枝，
山崎佳代，　鈴木めぐみ，佐々木美香，土屋雅一，
松本祐介，　櫻田雅彦，　石黒仁江，　永嶌勝馬，
山田隆史，　島　一聡，　髙橋浩司，　杉本紳也，
速水　尚，　川上　功，　西出陽子，　大場誠悟，
吉松昌之，　木村　裕，　涌島　豊，　妹尾一樹，
三溝恒幸，　奈良由美子，中原智恵，　和田美佐子，
鈴木由加里，池上慎一郎，宇和山純也，川口祐樹，
谷山奈津美，前田明子，　伴　万里子，佐藤康子，
髙橋一郎，　佐藤三次，　稲垣美穂子，城市由紀，
橋本典也，　阿部誠子，　大谷淳二，　大石　諭，
前田幸宏，　近藤洋文，　大河原正哉，松尾　拡，
安藤和枝，　日比麻未，　村井靖子，　殿城由美，
平塚敏隆，　田中睦都，　住田真一，　早野　毅，
森　和美，　山田和代，　玉野宏一，　今枝明子，
曽谷由香，　三隅賢祐，　中村守厚，　山田浩史，
上嶋伸知，　渡邉達也，　大城　同，　初川貴司，
馬渕　直，　山口祥子，　水田沙由美，木本直孝，
村上幸生，　佐藤雄一朗，渡部新二，　山藤千紗子，
加藤真悟，　山下貴史，　岡本佳明，　樋田貴文，
吉澤泰昌，　渥美　橘，　飯尾直美，　高橋幸世，
高瀬維彦，　坂本健二郎，柏原和博，　高橋直子，
山崎好美，　古本真澄，　松本晃一，　井田　泉，
白勢健策，　綿貫　卓，　新居泰浩，　岩田周子，
後藤喜代子，藤本眞里，　小西光恵，　櫻井麻実，
久保田　藍，古田真由，　杉本和代，　内山　宙，
山崎　真，　中曽根潤一，服部松美，　新保有香，
加藤ほづみ，田口理恵，　沼尻浩亮，　白和孝一，
山口　哲，　長谷川正和，南里篤太郎，中谷一空，
小城哲治，　林　由美子，三上隆央，　市原雅也，
外城英史，　吉　弘幸，　大野由衣，　佐藤美和子，
岩田　愛，　三本昌秀，　馬場周平，　鈴木晶子，
石原眞紀，　海戸恵，　松村薫子，　金桝奈穂美，
手島三幸，　柴田修一，　安藤暢章，　髙橋雄志，
藤井大士，　江田昌弘，　高垣喬三，　玉井一郎，
西尾和彦，　山口博史，　松岡研二，　西村元彦，

塩田智史，　藤川真由子，武田未来，　中島久美子，
對馬佳菜子，金久美子，　菊地康恵，　根本賢治，
武野氏陽介，町田悠子，　冨岡ゆかり，鷲見由美，
本多新一，　河合利彦，　平井秀明，　川村涼子，
真田依功子，大井まゆみ，海野直子，　半田亜紀，
坂口琴美，　庵原英晃，　平田　誠，　岡﨑洋平，
大上博史，　穂積英治，　宮田康平，　大西正宏，
天沼　崇，　天沼未沙子，吉冨　泉，　木村美穂，
山澤武司，　江本朋弘，　小森洋平，　鈴木正憲，
中川哲也，　加治佐明日香，柴田久美子，北原真美，
林田多英，　須﨑洋子，　須田美穂子，佐相久美，
柿山宏史，　古橋一宏，　前田　修，　是永俊晴，
岡野主裕，　山之内浩司，長田裕行，　皿田　学，
領内　茂，　松岡芳輝，　中村大輔，　三木万里子，
佐野恭子，　大澤　愛，　田頭美穂，　濱中いつ子，
冨永友香里，前崎有美，　佐々木広美，嶋宮佳菜，
三浦由佳，　斉藤真理，　高田英和，　福田達也，
近藤悠司，　古田勝典，　上谷俊雄，　松浦理太郎，
本多　誠，　坂巻良一，　水尻大希，　水尻美香，
山下美華，　山田直美，　大森　彩，　青木　聡，
外山敦史，　太田光教，　中嶋章晃，　髙橋京子，
原　珠紀，　波多野陽子，仲野藍子，　田川哲成，
行竹仁美，　長岐祐子，　前田佳子，　大森紘子，
祝　未央，　鶴田美緒，　吉川沙絵，　野口俊也，
鶴迫伸一，　竹内　快，　大野伸文，　三浦真由美，
今村嘉希，　高野遼平，　菅　惇，　餅原洋介，
足立昭彦，　堀川義浩，　中原達也，　宇髙勝昭，
久森あやこ，篠宮伽奈，　野田千栄，　川井円香，
那須恵里香，志田智子，　髙野舞弥，　小田裕子，
大井秀輝，　小林　繁，　伊藤昌輝，　関根靖浩，
松田智子，　落合知正，　私市和男，　村井義隆，
垣内敏成，　尾辻裕美，　赤坂実希子，山内美希，
木島裕美子，小野澤直子，堀田千恵子，阿部正信，
榎本　永，　上杉さつき，佐々木由紀子，尾川裕子，
二口二三子，黒川薫代，　川口美和，　玉井真理，
佐藤康郎，　舩井俊仁，　久場良之，　南部弘喜，
岡村　尚，　山田利治，　栗田貢一，　竹林潤一郎，
野上琢二，　堀井美乃，　瀧波宏至，　川端功男，
篠島雅直，　伊吹浩恵，　室田浩美，　三好美衣，
山田知佳，　小崎宝子，　松本直人，　黒崎知子，
森　真二，　西本郁恵，　小林利也，　瀧　雅行，

長谷部充彦, 杉山弘和, 太田光臣, 山田麻未,
山縣純子, 福士 薫, 藤井晶子, 菊田友美,
長澤まどか, 山畑由貴子, 江良知江子, 富保操子,
栗本佳世子, 武井希三子, 向畑公仁枝, 藤原理恵,
杉原智子, 森貞和美, 土生真梨子, 小澤大作,
安藤 大, 樋口琢善, 藤波一典, 山本 明,
宮原健治, 内部健太, 髙橋正宗, 山西康文,
小林靖宜, 村上史恭, 橋本 誠, 大向宏治,
釋 厚史, 篠田恭平, 寺本吉則, 竹内俊二,
中川秀紀, 櫻井直生, 磯部由紀子, 伊藤なおみ,
稗田綾美, 飯島佳代子, 橋戸恵子, 梅津 希,
松川公子, 中井尚子, 松村香織, 桑田未紀,
松井知行, 佐々一男, 田内義人, 福田大介,
河原正和, 濱野有紀子, 上田桃代, 山本千恵子,
佐々木千夏, 新名恵里架, 堀家美鈴, 横田里美,
真鍋順子, 柳迫利宗, 合田 愛, 大塚恵理子,
大内理枝子, 吉村知子, 東 由紀, 岡村亜季,
藤原 基, 竹本元秀, 西川卓志, 増田智基,
丸山敏史, 宮内知彦, 松本貴志, 三口道義,
後藤憂子, 長谷川ユカ, 宮下純子, 増子知樹,
上野泰宏, 長井知恵, 二羽奈美, 木下智子,
北垣順子, 嘉数真理, 今井義明, 宮田利清,
谷口昌男, 宮武 亮, 森本誠一, 関根浄治,
榊 邦弥, 羽田政美, 津久井貴光, 宮崎克彦,
田中浩明, 須永 裕, 酒井 修, 諏江泰樹,
遠藤伸吾, 芳賀美智子, 谷 幸子, 中林宏美,
宮崎くみ子, 島岡玉枝, 藤原奈津美, 田沼裕志,
福本幸恵, 畠山智子, 老川暁子, 木下理花,
河野 碧, 川口恵美子, 西浦和正, 岩川博和,
捧 泰章, 小川原和宏, 曽原晃世, 宮崎 尚,
油井知雄, 後藤律郎, 金井奨悟, 秋葉陽介,
内山裕美子, 菅原礼子, 森 彩緒, 宗久訓子,
勝 幸, 星 美希, 川西順子, 寺田典子,
山口 耕, 金川洋恵, 中澤正絵, 角田宗弘,
山口英久, 鳥巣哲朗, 小柳達矢, 門井謙典,
田邊智久, 竹花 覚, 鵜沼英郎, 新井 望,
齋藤紀子, 村上優香, 神野紫穂, 後藤香織,
佐々木友美, 李 貴華, 薄井祐子, 金森行泰,
藤本直樹, 仲田誠一, 村田秀夫, 遠藤眞澄,
吉村佳博, 早瀬泰博, 島原 理, 太田啓介,
伊神十郎, 平田晃弘, 豊永達宣, 太郎丸毅,
杉澤幹雄, 藤山智行, 下迫政人, 有若妙子,
筋野広美, 扇 加奈, 林 由智香, 田中あゆみ,
吉田利正, 広田敦哉, 真野佳樹, 若宮 茂,
井上亮平, 平岡理恵, 中嶋まゆ子, 野中かおり,

木部美智代, 松崎瑞穂, 溝端直美, 竹内 梓,
野崎衣見, 吉武勢津佳, 本多春枝, 保苅麻友,
久我絵里子, 中居ゆかり, 田中愛美, 塩附祥恵,
三木仁美, 合津早紀, 奥野瑛理香, 廣瀬了美,
横谷亜希子, 速水 毅, 亀井雅嗣, 山田幸夫,
富永 賢, 山谷勝彦, 川端利明, 木南忠幸,
伊藤保弘, 花原靖朗, 浅井宏道, 浅井容子,
武岡理恵, 中林三朋, 鈴木友佳理, 薮 沙織,
宮地つくも, 田代 彩, 安澤美紀, 松谷康平,
白井健太郎, 原田浩和, 小山邦宏, 川﨑希人,
桜場理沙, 椎橋美穂, 加藤光司, 定村正之,
小山浩明, 長山秀子, 山碕拓也, 新原拓也,
行貞達也, 大和英一, 牧尾優一, 安藤幸治,
内藤匡博, 宗村裕之, 北詰浩久, 菊地栄二,
尾林洋隆, 長沼剛史, 増山崇俊, 吉里英治,
廣光崇行, 野碕政悟, 松田祐介, 大塚慶子,
葛城由起江, 田中陽子, 徳丸和美, 内田美久,
金森真理子, 庵地絵里香, 小村真貴子, 田中汐理,
丸山由起子, 加藤裕美, 武井亜子, 髙橋美雅子,
濤岡一司, 金田祥弘, 赤倉毅彦, 山口芳正,
橘田 修, 加賀良 隆, 井上 学, 松本伸一,
川井貴裕, 鈴木亜由子, 堀井玲子, 西原久美子,
山内美奈, 白鯛真由美, 田中美由紀, 多田可縫,
岡部茂子, 塚田靖一, 角田達彦, 小林 裕,
森永洋輔, 野平明彦, 昆 隆一, 中谷昌弘,
早川好昭, 清水洋利, 竹村忠哲, 石井通勇,
森口善夫, 安吉 祐, 田中 哲, 石井日出明,
綾田健太郎, 太田敦士, 隅田孝雄, 武市完平,
田村洋平, 門脇秀樹, 大科英和, 若林晃子,
片瀬剛士, 谷川雄一, 菊池雄一, 瀧川幸生,
山根木裕代, 細江美知, 松田詠子, 黒田和孝,
尾崎雅征, 相樂貞文, 中村誠志, 川下 考,
緒方理人, 赤田留吉, 森 輝美, 吉道 玄,
櫛田華子, 西沢祐希, 十川 崇, 渡辺佳衣,
山名 瞳, 小針啓司, 髙橋美穂, 渡辺茂文,
長野和幸, 千葉晃義, 大関理恵, 赤田晋哉,
岩元亨彦, 門 貴司, 川崎智泰, 藤谷直和,
菅崎 紳, 加藤仁美, 齋藤美佳, 阿部健一郎,
吉田 篤, 内海大輔, 竹内 理, 玉城和弥,
大工原徹, 須加真明, 糸井昭一, 森田和伸,
寺辺やよひ, 木村祐士, 塚本 隆, 河原 敬,
綿谷和也, 平野滋三, 築舘勇樹, 稲上順子,
山口真史, 渡部範生, 近藤圭太, 佐久間剛,
篠原憲太, 湯川 健, 寺田賢治, 西島本周二,
亀井正晃, 直宮英俊, 遠山隆寛, 西崎誠喜,

税所秀揮，　宮田輝美，　岸田早紀子，上田江梨香，
黒田尚子，　土屋和子，　増田容子，　前川由香，
古石敦子，　山藤政美，　泉　久美子，中川亜純，
味村敏朗，　今田奨，　木村清貴，　田中克彦，
近川　洋，　田品寛樹，　匹田雅之，　中廣剛士，
綿木康浩，　岸　輝樹，　堀田光寿，　山崎　乃，
岸　友美，　加納啓一郎，佐藤穏子，　竹内孝興，
河田浩幸，　関口寛之，　浜田英輝，　髙橋真和，
王　陽平，　岡田広章，　石川智久，　小山裕一郎，
森　杏子，　大隅　省，　飯島　伸，　榎本吉宏，
坂本瑛介，　土田雄介，　岩宮万里子，森蔭由喜，
長谷川昌輝，影山勝保，　小田垣　享，井清貴久子，
田代幸子，　東山景一朗，中務洋一，　加藤宏明，
菅谷敦人，　枝松　洋，　吉本直樹，　田中真理子，
名取俊一，　阿部二郎，　宮岡博就，　大野建州，
塚本文隆，　岡崎考亮，　峙和　寛，　別所央城，
松井泰隆，　岡部一孝，　鈴木慎二郎，増本一真，
平山　剛，　吉田正司，　高橋英知，　菊地　亮，
松碕達哉，　大森　実，　北澤那奈，　兼光祥子，
藤枝督史，　有吉　聡，　齋藤雅俊，　大友優子，
山下眞里子，尾畑玲奈，　大坪弘人，　佐藤裕向，
大乗　衛，　森　竜文，　三浦桂一郎，中島　隆，
藤井克則，　出澤政隆，　羽田春美，　柳岡　崇，
長嵜祥吾，　山野井涼一，槍崎慶二，　菅鉢孝治，
石本光則，　佐藤　要，　竹田浩人，　川嶋秀幸，
堀田正人，　武川泰久，　忽滑谷由紀彦，長谷川雅一，
水口　歩，　瀧　正彬，　古庄龍央，　大野幸子，
宮内　徹，　乗石真希，　佐藤節子，　井内　洋，
成相義樹，　林田耕治，　好士亮介，　白井彰人，
柳沢英明，　臼井昭雄，　別府祐次，　河碕重太，
篠田　純，　藤原　亮，　関　勝宏，　光田斗夢，
牧原梨恵，　堀　弘二，　沼田惠次，　浅見彩路，
山碕　篤，　荒井美智也，角田耕一，　仁木エミ，
山田利恵，　陶山新吾，　山本理恵，　文田博文，
弘兼典明，　三串雄俊，　小島良太，　前田昌彦，
大山　洋，　萩原　聡，　山内敬士，　矢澤京太郎，
園田　悟，　小山慎介，　小林琢也，　深沢宗主，
亀田行雄，　野村知恵子，谷本真水香，中村未央，
小川貴雄，　井奥洪二，　松山文樹，　田中　俊

（以上 844 名）

インプラント、マイクロサージェリーに威力を発揮
モジュール式診療台「ブルマバOP」

多様なニーズにお応えするモジュール式診療台「ブルマバOP」は、
4つの電動リクライニング部、豊富なアクセサリーとの組合せにより、
患者さんの快適性と術者の作業性を両立させました。
特に精細な治療を必要とするインプラントやマイクロサージェリーに
また、高齢者・障害者診療にも適しています。

販売名　ブルマバ　OP
標準価格　5,980,000円
製造販売届出番号　26B1X00001000501

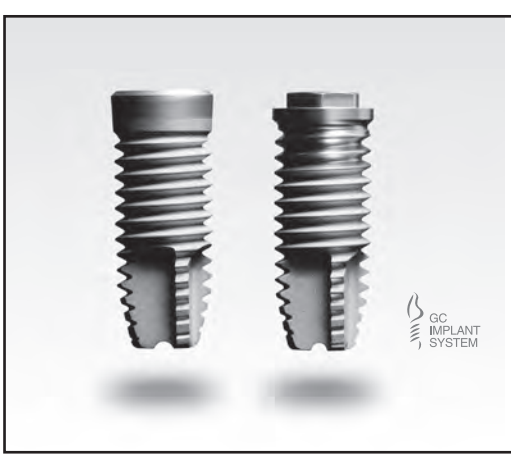
販売名　ニューカートユニット　型式KU7-S10A
標準価格　1,520,000円
医療機器承認番号　15600BZZ01549000

販売名　ニューカートユニット　型式KU7-S11
標準価格　2,050,000円
医療機器承認番号　15600BZZ01551000

2008年3月20日現在 消費税別途

製造販売
株式会社モリタ製作所
本 社 工 場　京都府京都市伏見区東浜南町680
〒612-8533 TEL (075) 611-2141
製造
brumaba KG（ドイツ）

発売
株式会社モリタ
大阪本社　大阪府吹田市垂水町3-33-18
〒564-8650 TEL (06) 6380-2525
東京本社　東京都台東区上野2-11-15
〒110-8513 TEL (03) 3834-6161



GC

GENESiO iN /SETiO eX
internal implant / external implant

ジーシー インプラントシステム「Re（アール・イー）」は、
ジェネシオ（インターナルタイプ）、セティオ（エクスターナルタイプ）の
2つのシステムで構成されています。

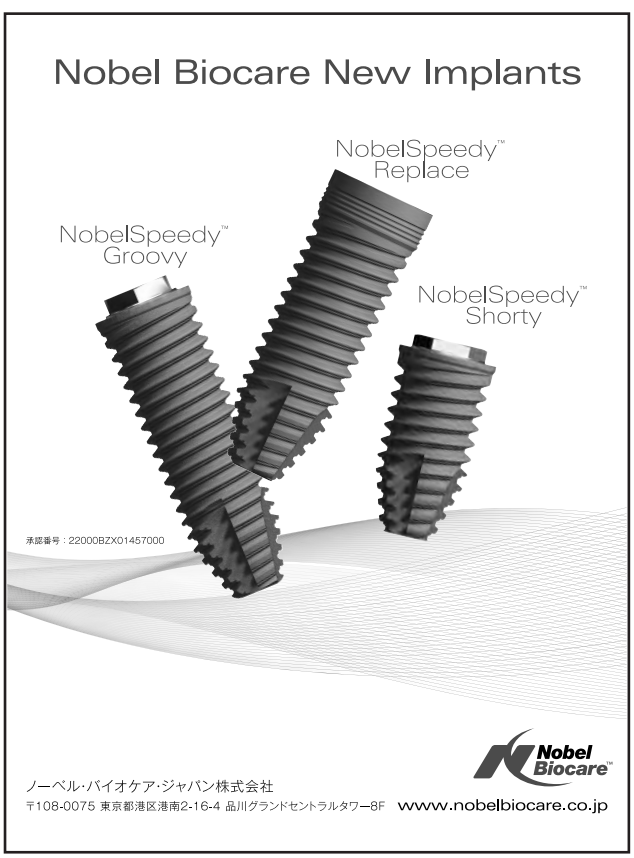
高度管理医療機器　20500BZZ00868000　ジーシー インプラント
高度管理医療機器　21400BZZ00102000　ジーシー スクリューインプラント Re
高度管理医療機器　21400BZZ00068000　ジーシー インプラント Re

株式会社 ジーシー　www.gcdental.co.jp/

※掲載は、2009年6月現在のものです。製品の仕様・外観等は、予告なく変更になる場合があります。

ASTRA TECH DENTAL
Get inspired
TiOblast®
Micro Thread™
Conical Seal Design™
Connective Contour™
Astra Tech BioManagement Complex™
－function, beauty and biology in perfect harmony－
承認番号 20700BZG00070000
20800BZG00033000
20800BZG00034000
22000BZX01103000
届出番号 13B1X00020000004
13B1X00020000005
13B1X00020000007
13B1X00020000008
13B1X00020000009
ASTRA
ASTRA TECH
A company in the AstraZeneca Group
製造販売業者 アストラテック株式会社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-7-16
TEL:03-5775-0515 FAX:03-5775-0571 http://www.astratech.jp

ISO 13485/9001
FDA K052254
MYTIS
ArrowImplant
承認番号 21500BZZ00187000
ブレーンベースは、インプラントを中心とした
「骨治療の統合システムの確立」を
製品コンセプトとして追及しています
BBC 株式会社 ブレーンベース
〒140-0014 東京都品川区大井1-22-13 米山第2ビル6階
営業時間 月～土 AM 9：30～PM 6：00（日・祝日休業）
FreeDial TEL 0120-25-4929


Nobel Biocare New Implants
NobelSpeedy™ Replace
NobelSpeedy™ Groovy
NobelSpeedy™ Shorty
承認番号：22000BZX01457000
Nobel Biocare
ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社
〒108-0075 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー8F www.nobelbiocare.co.jp

BIOHORIZONS®
SCIENCE・INNOVATION・SERVICE
バイオホライゾンズ・インプラントシステムは、米国での販売開始から13年目を迎え、インプラント競合国と言われる米国においてTOP10以内の販売シェアを誇る信頼性の高いインプラントシステムです。
HA Impalant
One-piece Impalant
External
HA Implant System
HAタイプ 販売価格／33,000円（税別）
表面処理はHA高密度結晶体でコーティングされています
インプラントの販売価格は、アバットメントを含めた4点セットの価格です。
●インプラント体
●アバットメント
●カバースクリュー
●アバットメントスクリュー
の4点セットです。
❶インプラント体
❷アバットメント
❸カバースクリュー
❹アバットメントスクリュー
スクリュー構造はNASAでも採用されているスパイラロック方式
※チタンタイプもございます 販売価格／29,800円（税別）
One-piece 3.0
Implant System
チタンタイプ 販売価格／22,000円（税別）
RBTの表面処理が施されたチタン合金製ワンピースインプラントです。
●アバットメント部は窒化チタンコーティングが施され、審美性を向上させると共にプラークの付着を抑えています。
●アバットメント部分を摩擦接合する際に使用する、プレッピングバーが1本付属しています。
Φ3.0mm
8mm
12mm
15mm
18mm
第1種製造販売業許可番号:13B1X10031 承認番号:21500BZY00354000 承認番号:21500BZY00355000 承認番号:21700BZY00575000
製品についてのお問い合せは／バイオホライゾンズ製造販売元
株式会社 カイマンデンタル
〒102-0082 東京都千代田区一番町8番地15 一番町MYビル
TEL:03-3238-7560 FAX:03-3238-7561
製品についての情報はホームページでもご覧いただけます http://www.caimandental.com

目　次

本号のトピックス
第 39 回学術大会盛大に開催される …… 1
第 39 回学術大会開催報告 …… 2～3
日本歯科医学会会長賞受賞者紹介 …… 4
ドイツ口腔インプラント学会との学術協定が結ばれる …… 4
第 40 回学術大会ご案内 …… 5
第 39 回学術大会受賞者紹介 …… 6
平成 21 年度各賞受賞者およびデンツプライ賞受賞者紹介
　学会特別功労賞受賞者 …… 6
　学会特別賞受賞者 …… 6
　学会優秀論文賞受賞者 …… 7～8
　学会奨励論文賞受賞者 …… 8～9
　学会優秀研究発表賞受賞者 …… 9～10
　デンツプライ賞受賞者 …… 11
第 4 回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会開催報告 …… 12～13
指定研修施設紹介
　神奈川歯科大学附属病院インプラント科 …… 14
　インプラント再建歯学研究会 …… 14～15
平成 21 年度ケースプレゼンテーション試験合格者 …… 15
新入会者紹介 …… 16～18
広告 …… 18～20
目次 …… 20

患者説明用拡大模型
MEGANAVIシリーズ
大好評発売中

2008年12月より販売開始された大好評のMEGANAVI（中間欠損）に続いて、2009年12月よりMEGANAVI Ⅱ が販売開始されました。遊離端欠損でデンチャーパーツを有し、インプラントのオーバーデンチャーやサイナスアプローチの説明が可能となっております。
患者様へのインプラント治療の説明やそのメンテナンスの説明、ブリッジにおける支台歯形成やデンチャー治療のデメリット等、幅広い治療説明が可能なMEGANAVIシリーズを是非ご活用ください。

お問い合わせご用命は 和田精密歯研株式会社 までご連絡ください。

歯も心も美しく
和田精密歯研株式会社
インターネットホームページ http://www.labowada.co.jp
〒532-0002
大阪市淀川区東三国1-12-15 辻本ビル6F
TEL：(06)4807-6700 FAX：(06)4807-6788

広報委員会からのお知らせ

前年度に引き続き春日井昇平（東京医科歯科大学）が委員長を務めます。現在の広報委員会のメンバーは以下の通りです。

委 員 長：春日井昇平
副委員長：五十嵐俊男
委　　員：山内六男，嶋田　淳，十河基文，内藤宗孝，北川　昇，土屋直行

今後とも広報委員会は，ニュースレターとホームページを通じて会員の皆様に学会の情報を素早く正確に伝達するよう努力致しますので宜しくお願い致します。ご意見，ご要望等ございましたら，以下の連絡先にご連絡ください。

〒 113-8549　東京都文京区湯島 1-5-45
東京医科歯科大学　インプラント・口腔再生医学
春日井昇平
電話　03-5803-5934
ファックス　03-5803-5934
メールアドレス：kas.mfc@tmd.ac.jp

インプラント学会　検索